

令和7年度 南区まちづくり推進事業 事業計画



令和7年度 南区まちづくり事業及び予算額

No.	事業名	予算額	No.	事業名	予算額
地域の魅力を活かしたまちづくり		2,761	住民の幸福度を高めるためのまちづくり		4,362
1	継 デジタルでつなぐ"たからもの"活用事業	1,035	13	継 南区地域包括ケアの推進事業	1,300
2	継 地域資源活用事業	360	14	継 南区管内子育て支援ネットワーク応援事業	483
3	継 南区ノベルティグッズ制作事業	400	15	継 口腔ケア及び生活習慣病の予防等に関する啓発事業	1,356
4	継 わがまち未来コンテスト	966	16	継 ボッチャ大会	100
住民、事業者、行政の協働による自主自立のまちづくり		11,106	17	新 地域のにぎわいづくり事業	257
5	継 美化活動啓発事業	420	18	継 eスポーツによる健康まちづくり事業	574
6	継 南区"いきいき"地域連携事業	200	19	継 モルック交流会事業	112
7	継 地域コミュニティづくり支援事業	4,041	20	新 飽田カップ2025(校区対抗ボッチャ大会)	180
8	継 南区まちづくり懇話会	312	防災・防犯力の向上によるまちづくり		1,571
9	新 クリスマスイルミネーション連携事業	1,200	21	継 防災に強いまちづくり事業	845
10	継 地域とつくるまちづくりイベント事業	200	22	継 南区防災バスツアー開催経費	526
11	継 城南地域ブランド力向上推進事業	2,171	23	継 南区こどもの交通安全対策事業	200
12	継 地域緊急課題対応事業	2,562			(千円)
南区まちづくり推進経費 合計					19,800

1 デジタルでつなぐ“たからもの”

活用事業(総務企画)

継続事業

目的

◆スマートフォンを活用した誰でも参加できるデジタルスタンプラリーを実施し（3ヶ月間実施予定）、こどもから高齢者まで幅広い世代に参加してもらうことで、外出のきっかけをつくり、健康増進につなげるとともに、デジタル活用の促進と南区の魅力発信を図る。

内容

◆スタンプラリーでは無料のアプリを利用し、南区管内の文化財や史跡等をチェックポイントに設定し（20箇所程度を想定）、すべてのスタンプを集めた参加者の中から抽選で南区の特産品等をプレゼント。

また、チェックポイントで撮影した写真を提出してもらい、フォトコンテストを開催する。優秀賞には南区特産品をプレゼント。



2 地域資源活用事業(総務企画)

継続事業

目的

◆南区の地域資源である農漁業及び文化財等を活用し、農漁業体験や歴史伝統文化体験を通じて次世代を担う子どもたちが親子で体験することで、農水産業や伝統文化への関心を高めるとともに南区の魅力を発信する。

内容

【概要】

- ・南区の特産品（トマト・なす等）の農漁業体験ツアー（种植え・収穫・販売・調理など）
- ・南区歴史伝統文化体験ツアー（史跡めぐり、伝統工芸品作り体験など）

【対象者】南区在住の小中学生の親子 25名程度

【時期】年2回を予定



3 南区ノベルティグッズ製作事業(総務企画)

継続事業

目的

◆南区のシンボルマークやキャラクターが描かれたグッズを製作し各種イベント等にて配布することで、南区シンボルマークやキャラクターの認知度向上を図るとともに、区民意識の向上や南区としての一体感の醸成を図る。

内容

◆南区シンボルマークやキャラクターをあしらったノベルティグッズを製作し、南区で実施するイベント等で配布することで区民に視覚的にアピールする。

【製作予定品】
フェイスタオル、ネックストラップ など



4 わがまち未来コンテスト(南部まちセン)

継続事業

目的

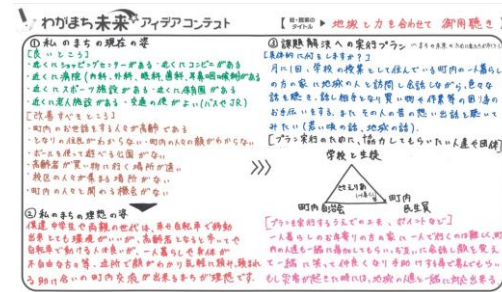
◆こどもたちの地域へ対する想いや視点について作品募集を行い、次世代の担い手であるこどもたちに、自身が住むまちについて考える機会を創出する。応募作品を審査し表彰するとともに、冊子にし「こどもたち目線の地域」として地域の方々へ共有する。

内容

◆こどもたちから作品募集を行い、応募作品はコンテスト形式で審査し、入賞作品は表彰式を行うとともに、冊子として地域の方へ「こどもたち目線の地域」を共有し、今後の地域活動のヒントとしてもらう。

【募集対象】南部まちづくりセンター管内の小中学校

【募集内容】①小学生の部（絵画）
②中学生の部（企画提案）



5 美化活動啓発事業(総務企画)

継続事業

目的

◆南区管内の小学生からごみ問題等に関する啓発ポスターを募集し、優秀作品には表彰及び市ホームページ等で広報する。こどもたちが環境について自分自身にできることを考え、環境への責任ある行動をとれる態度を育成することにつなげる。

内容

◆夏休みの課題として、小学生からごみステーションの管理やごみ問題等に関する啓発ポスター作品を募集し、優秀作品には表彰及び市ホームページ等で広報する。また、最優秀賞作品によるポスターを製作し、ごみステーション美化の啓発活動の一環として地域に配布する。



6 南区“いきいき”地域連携事業(総務企画)

継続事業

目的

◆南区内校区体育協会や南区管内の商工会等と連携し、南区親善スポーツ大会や豊かな自然に親しむ穴掘り大会を開催し、区民の健康増進及び親睦を図るとともに、南区の一体感を醸成する。

内容

◆南区いきいきスポーツ大会

どなたでも参加しやすい種目を検討し開催予定
ウォークラリー または グラウンドゴルフなど

【主催】南区親善スポーツ大会実行委員会

(構成員：南区内校区体育協会(21団体))

◆穴掘り大会

毎年2月に加勢川河川敷を活用した穴掘り大会を開催

【主催】南区を自然でつなぐ実行委員会

(構成員：各地域の商工会、国交省等)



7 地域コミュニティづくり支援事業(総務企画)

継続事業

目的

◆自治会、自治協及び地域のまちづくり団体等が主体的に地域課題の解決や地域コミュニティの活性化に取り組み、活動の継続が見込まれる事業に対して補助金による支援を行い、持続可能な自主自立のまちづくり活動を推進する。

内容

◆地域コミュニティ形成や課題解決を目的とした地域の自主的事業に対する助成

【対象団体】

町内自治会、校区自治協議会、南区で活動する実行委員会等

【補助率・補助金額】

自治会・自治協	初年度のみ：補助対象事業費×1/2（2.5万円～30万円）
実行委員会等	初年度：補助対象事業費×2/3（10万円～40万円）
	2年目：補助対象事業費×1/2（7万5千円～30万円）
	3年目：補助対象事業費×1/3（5万円～20万円）



8 南区まちづくり懇話会（総務企画）

継続事業

目的

◆地域の各分野で活動されている区民等で構成するまちづくり懇話会を設置し、区の特性を生かした魅力あるまちづくりに関する事項について意見交換し、区民との協働によるまちづくりを推進する。

内容

- ◆年4～5回開催（予定）
 - ・南区まちづくり推進事業に関する意見交換
 - ・その他、まちづくりに関する意見交換 など



9 クリスマスイルミネーション連携事業(富合まちセン)

新規事業

目的

◆例年開催されている富合商工会のイルミネーションイベントに合わせて、まちづくりセンターも連動してアスパル富合を装飾することで、更にイベント内容を充実させる。また、開催初日の点灯式イベントにおいても来場者が楽しめる企画を実施する。

内容

- ◆アスパル富合のイルミ装飾、点灯
 - ・点灯式イベントにおける来場者向け企画の実施（R5・6年度はふれあい動物園等を実施）
- ◆実施時期
令和7年12月（点灯式は第2土曜日（予定））



10 地域とつくるまちづくりイベント事業(南部まちセン)

継続事業

目的

◆小学校区内でナゾトキを行いながらまち歩きするクイズラリー形式のイベントを実施。地域団体と協働し地域や防災に関するクイズを作成し、地域の魅力再発見による地域愛の醸成や防災意識の向上につながるきっかけづくりの場とする。

内容

◆二次元コードを活用したクイズラリー

校区内数カ所のチェックポイントに地域や防災に関するクイズを作成。参加者は各ポイントに設置された二次元コードを読み取り、クイズに答えながらまち歩きを行う。参加チームの中から優秀賞を選定し景品を贈呈予定。

- ・実施エリア：城南校区または力合校区
- ・参加者：校区内の児童やその保護者等
- ・優秀賞：地域団体等からの協賛品
- ・12月頃に実施予定



11 城南地域ブランド力向上推進事業(城南まちセン)

継続事業

目的

若い世代のまちづくりへの参画と、地域を牽引する次世代リーダーを育成するとともに、SNSなどのあらゆる広報媒体を活用し城南町の知名度を高め、歴史・文化・食・産業など魅力ある地域資源を活用した地域活性化を図る。

令和7年度の取組み

1 火の君カフェ事業【継続】

まちづくりの拠点となるプラットホームの構築事業。火の君カフェ
毎月第3土曜日19:00～ まちづくりセンター会議室

2 まちづくり人材育成・発掘事業【継続】

先進地視察研修（鹿児島県鹿屋市、山口県宇部市、黒川温泉観光旅館協同組合等）

3 地域ブランド力向上実行委員会負担金

(1) nansama城南事業

- ・城南町の魅力発信、地域活性化を目的に歴史・文化、農業、産業、観光等を活用したミニイベントを開催するもの。
- ・R7年度は城南町以外のイベント等に出張開催を予定。緑のアクションプログラム事業において森の都推進部と連携。

(2) 火の君商品開発事業

- ・城南町の資源を活用した商品開発により地域ブランドの構築を図る。地元の農家、飲食店、パン屋、企業等と連携。
- ・R7年度は、城南町の民間企業や学生とワークショップ等を開催し、民間企業と連携した商品開発を検討。

(3) 婚活イベント事業

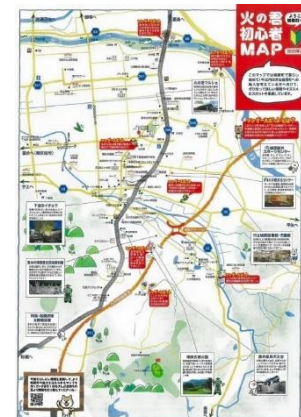
- ・少子化対策、定住人口の誘引、地域活性化の一環として、独身男女に新たな出会いの場を提供。
- ・R7年度は年2回の実施を予定。また、富合商工会青年部などと連携した実施を検討。

(4) 火の君お助けMAP更新事業

- ・住民目線の生活に役立つ「火の君お助けMAP」を作成。窓口、各種イベント等で配布。
- ・R7年度は城南町サイクルマップの作成を予定。

(5) 広報事業

- ・SNS、民間広告、ラジオ等を活用した情報発信。



12 地域緊急課題対応事業(総務企画・全まちセン)

継続事業

目的

◆突発的に発生する地域課題や地域ニーズに対し、迅速に対応できるための経費。課題等が出てすぐに解決することで、地域のまちづくりの機運を逃さず活動につなげることができ、自主自立のまちづくりの促進と地域連携・信頼関係の構築を図る。

内容

◆課題等が出てすぐに解決することで地域のまちづくりの機運を逃さず活動につなげることができ、自主自立のまちづくりが促進される。また、地域との連携強化や行政への信頼関係の構築につながる。

(R6年度実績)

- ・ウォールアートプロジェクト事業
- ・立ち寄りスポットマップ作成事業
- ・南区役所イルミネーション など



13 南区地域包括ケアの推進事業(福祉課)

継続事業

目的

◆「南区地域包括ケアシステム推進方針」の取組方針を達成するため、介護予防分野実務者会議の開催や、介護予防に関する啓発動画等を作成することで高齢者の通いの場の活動の活性化を促す。また、令和3年度からの取組である人生会議の普及啓発等を継続するとともに、在宅医療や在宅介護の啓発に注力する。

内容

(1) 動画作成

介護予防（口腔、栄養、運動）に関する動画を作成し、高齢者の通いの場で活用してもらうことで、健康寿命の延伸を図る。

(2) イベント開催

国が定めた人生会議の日に合わせてイベントを開催し、地域包括ケアシステム及び在宅医療等に関する情報の普及啓発を図る。

(3) セミナー開催

校区等小単位でのセミナー開催により、地域包括ケアシステム及び在宅医療等に関する理解度の深化を図る。

(4) 施設における看取り支援

施設からの依頼を受けて、訪問看護や施設介護の経験が豊富なメンバーで構成するサポートチームを派遣する。

14 南区管内子育て支援ネットワーク

応援事業(保健こども課)

継続事業

目的

◆各校区の子育て支援団体や関係機関の活動を支援することで、子育て支援ネットワークの活性化を図る。各団体等をネットワーク化することで、それぞれが感じている課題を共有し、支援策を検討することができ、多方面から子育て世帯をサポートする「地域ぐるみでこどもを育てるまち」の充実につなげる。

内容

- ①各校区（地区）子育て支援ネットワーク活性化支援
子育て支援ネットワーク会の開催
- ②各校区（地区）子育て支援ネットワーク活動支援
子育て支援ネットワーク主催 親子ふれあい講座の開催（仮）
- ③管内子育て支援ネットワーク
- ④管内子育て支援研修会（支援者・保護者） など

15 口腔ケア及び生活習慣病の予防等

に関する啓発事業（保健こども課）

継続事業

目的

◆区内の企業や地域団体等の働き世代を主な対象とし、むし歯予防講話や口腔ケア体験等を実施することで、区民の口腔衛生や生活習慣病に対する関心を高めるとともに、地域の歯科医療機関や企業と連携し、区民の健康づくりを支援するための環境整備を図る。

内容

- ① 区内の企業及び地域団体等（働き世代への啓発）に出向き、歯科疾患、生活習慣病、生活習慣病予防の食事についての講話や口腔ケア体験等を実施。
- ② 歯科疾患の原因は歯垢であることを理解するために、受講者には位相差顕微鏡を用いて教育を行う。
- ③ 受講者の節目年齢歯科健診及びフッ化物応用の啓発。
- ④ 受講者の口腔衛生と生活習慣病の関心を高め、健康意識の向上を図るため、事後アンケートを行い評価を図る。
- ⑤ むし歯や生活習慣病をテーマとしたオンラインセミナーの拡大。
など

16 ボッチャ大会(幸田まちセン)

継続事業

目的

◆「幸田まちづくりサロン」で提案された『スポーツを通じて交流』という意見をもとに、幸田地区内において、パラスポーツの一つであるボッチャによるイベントを開催し、スポーツを通じて地域の幅広い世代の交流及び活性化を図る。

内容

◆ボッチャ大会

幸田地区内の4つの小学校区の中で、チームを結成し参加してもらい、トーナメントを行う。優勝者には景品を贈呈する。夏・冬の2回開催を予定。

また、R6年度、R7年度の実施状況を基に、R8年度以降は地域団体との協働開催を目指す。



17 地域のにぎわいづくり事業(幸田まちセン)

新規事業

目的

◆地域住民が主体となって開催する、こどもが楽しめるイベント「こうだ☆ランド」に幸田まちづくりセンターからブースを出展する。また、購入する遊具等は、地域の要請に応じて貸し出し、有効活用することで地域の賑わいづくりを創出する。

内容

◆こうだランド出展等
「こうだ☆ランド」に来場したこどもたちに、野球とサッカーのストラックアウトを楽しんでいただく。利用は無料。
その他、各校区で開催されるバザー、夏祭りなどに貸し出し、イベントの盛り上げに貢献し、地域の活性化が期待できる。

18 eスポーツによる 健康まちづくり事業(天明まちセン)

継続事業

目的

◆高齢者向けeスポーツを定期的に行うことにより高齢者等の健康増進に繋げるとともに、デジタル機器への抵抗感を軽減することでデジタルディバイドの解消を図る。また、年に一回こどもから高齢者を対象にeスポーツイベントを開催することで世代間の交流による地域コミュニティの活性化を図る。

内容

◆高齢者向けeスポーツ体験会（年6回程度）
講師に熊本eスポーツ協会を招き、まちづくりセンターや地域公民館にて地域の高齢者を対象に受講者を募集し、「eスポーツ体験会」を開催する。

◆eスポーツイベント（年1回）
千原台高校eスポーツ部や熊本eスポーツ協会に協力いただき、まちづくりセンターで地域の住民（こども～高齢者）を対象に「eスポーツのイベント」を開催する。



19 モルック交流会事業(天明まちセン)

継続事業

目的

◆こどもから高齢者まで幅広い住民を対象にしたモルック交流会を実施することで、地域住民の交流を図る。また、高齢者が外出してモルックをすることで、軽い運動効果と心身のリラックス効果による健康寿命の延伸を図る。

内容

◆地域公民館や小学校に出向き、高齢者及びこどもを対象に受講者を募集し「モルック体験会」を開催する。
また、年2回天明校区内でモルック大会を開催予定。
人とつながることで孤立の解消や健康増進を図るとともに子どもから高齢者まで幅広い住民を対象とすることで世代間交流を図り、担い手の発掘育成に繋げる。



20 飽田カップ2025校区対抗ボッチャ大会(飽田まちセン)

新規事業

目的

◆地域コミュニティの活性化および生涯スポーツの普及を目的とし、ボッチャ大会「飽田カップ2025」を開催する。開催に際しては自治会、スポ協会(体協)、小学校、ささえりあなどの関連団体と町内・校区の垣根を越え連携して実施し、ボッチャを通じた新たなコミュニティの形成につなげる。

内容

◆大会は決勝トーナメントと予選リーグの2部構成とする。

①予選リーグは校区别で行う。

- ・実施時期：9～10月
- ・各町内で代表チームを選出し、総当たり戦を行う。
- ・各校区の小学校からも代表1チームを選出してもらう。

②決勝トーナメントは代表8チームでトーナメント戦を行う。

- ・実施時期：12月上旬
- ・決勝トーナメントは飽田自治連合会主催の健康まちづくり事業のボッチャ体験と併せて開催を計画する。
- ・1～3位のチームには表彰メダルを授与する。優勝チームにはトロフィーを授与する。

21 防災に強いまちづくり事業(総務企画)

継続事業

目的

◆南区において、地域防災組織として校区防災連絡会、避難所運営委員会、自主防災クラブ、防災士会が結成されており、これらの地域防災組織が一体となり連携して活動することで、地域防災力の向上を図る。

内容

◆R6年度については、各地域防災組織が連携して活動する体制づくりを目的として、校区防災連絡会及び南区在住の防災士が参加した防災研修会を実施した。

R7年度についても引き続き、各地域防災組織が連携して防災力向上に取り組む体制を構築するとともに各校区で防災士を中心として実施される防災訓練等に対して、防災用品の支援を実施する。



22 南区防災バスツアー（総務企画）

継続事業

目的

◆平成28年熊本地震の経験や教訓を次世代へつなぎ、熊本地震の記憶の風化を防ぐとともに、防災・減災意識の向上を図る。

内容

◆バスで県内の震災遺構等を巡り、発災時の様子や被災状況、規模や痕跡等について学ぶ。また、バス移動中は防災士がガイド役を務め、防災に関するクイズや防災減災についてわかりやすい説明を行う。さらに、参加者は実際に防災食を試食し、ローリングストックの説明も受けることで、日ごろからの備えについての知識を習得する。
（定員40名を予定）



23 南区子どもの交通安全対策事業(南区土木センター)

継続事業

目的

◆南区のキャラクターを活用した「止まれ」などの標示を通学路（歩道）などに設置し、視覚的にアピールすることで、学童の交通安全の意識を高める。併せてキャラクターの認知度アップを図る。

内容

- ・南区のキャラクターと「止まれ」などの文字を一緒にプリントしたもの（グラフィックサイン）を通学路等の横断歩道付近に設置する。
- ・通学路の安全対策としてスクールゾーンのライン入れ等を実施する。

